

校内研修計画

甲州市立井尻小学校

1 学校課題

本校の児童は、明るく素直で、休み時間になると活発に外遊びをする児童が多い。学習面では、家庭学習の習慣が身に付いている児童が多い。宿題はもちろん、授業の復習や計算練習、漢字練習等を自主学習ノート（いじりの子ノート）に取り組んでくる。しかしながら、まだまだ基礎的・基本的な知識や技能の定着、習得した知識や技能を活用する力などに課題が見られる。また、進んで説明したり、文章で表現したりすることに自信がもてず、授業中の発言に消極的な児童も見受けられる。平成 27 年度の「全国学力・学習状況調査」の本校の結果は、3 教科とも課題が見られた。全国平均を国語 A・B では 5%，算数 A では 12%，算数 B では 15%，理科では 6% と大きく下回った。児童質問紙調査からは、学習習慣は身に付いてきているものの、①教科学習への関心が低く、必要性を感じていない児童が多いこと、②友だちとの会話を通した言語力・表現力に不安を抱いていることが伺える。これらのことから、学校全体で、学習に関心をもち能動的・協働的に学ぶ態度、基礎的・基本的な知識や技能の定着や既習の知識を活用しながら問題を解決する力、考えたことを自分の言葉で表現する力を育成していかなければならないことが明らかになった。

2 研究主題

思考力・表現力の育成

～算数科の問題解決型の学習における言語活動の充実を通して～

3 主題設定の理由

本校では昨年度、『思考力・判断力・表現力を育てる指導法の研究』を研究テーマに、「算数科の問題解決型の学習における言語活動の充実」に重点を置き、研究に取り組んできた。その結果、学び合いの場面でのペア（グループ）学習や意見交流での児童の発表の様子が活気あるものになってきた。研究を通して、問題解決型の学習における教師の役割を学び、意識して実践を行ったことで教師の授業コーディネート力が高まってきたことが一因であるように思う。本年度は、昨年度の研究成果を生かし、本校の課題解決に向け更に研究を深めていくために、引き続き、算数科の問題解決型の学習における「思考力・表現力の育成」に焦点を当てて研究を進めていきたい。思考力・表現力を育成するために、どのように授業コーディネートしていくのか。昨年度学んだことを本年度は積極的に実践に移し、その検証をしていく。学び合いは、自分の考えを再構築する場でもある。ただ友達の意見を聞いているのではなく、そこから自分の考えを広げ深めたり、新たな考えを生み出せるように、本年度は実践の質を高めていく。

また、学習活動を支える豊かな言語環境の整備という点についても研究を深めていきたい。昨年度、講師の先生方から教えていただいた「算数コーナー」や「ことバンク」を実践し、児童の学習が充実するようにしたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の具体的内容

【学級づくり・集団づくり】……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト

- ・ K13 法による結果分析
- ・ ハイパー Q-U の結果をもとにした改善策の共有化

【授業づくり・授業改善】

- ・ 算数科におけるアクティブ・ラーニングについての理論研究（資料等からの理論研究）
- ・ 授業改善、授業研究の実施、甲州市ティーチャーズノートを活用した授業づくり……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト
- ・ ICT を活用した授業実践
- ・ 算数科の問題解決型の学習における授業研究を 2 回実施（6 月と 10 月）
- ・ 一人一実践（研究授業者以外全員、計画的に実施）

- ・算数科における言語環境の整備・充実（「算数コーナー」「ことバンク」を設置し、授業に役立てる）

【保護者との連携】……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト

- ・「家庭学習の手引き」を利用した家庭学習（いじりの子ノート）の指導・活用推進
- ・学年に応じた学習内容の共通理解
- ・いじりの子ノート展覧会の実施

(2) 研究の方法

- 全体会（理論研究，言語環境整備，いじりの子ノートの指導，授業研究等）
- 各ブロック（授業研究，学級集団づくり，ハイパー Q-U の分析等）
- 個人研究（一人一実践，今年度「学力把握調査」問題，「全国学力・学習状況調査」問題学習学年一覧表づくり）
- 実態調査（各種学力調査・ハイパー Q-U・学校アンケート調査）

年間校内研修計画

研究主任 志村多恵

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	TC
①昨年度の研究の概要と成果と課題，今年度の研究のアウトライン	研究計画	研究主任			
②今年度の研究の方向性の検討，家庭学習の取組について	研究計画 家庭学習				
③研究内容，研究計画決定	研究計画				
④甲州市ティーチャーズノート，算数科におけるアクティブ・ラーニング	理論研究 算数科				
⑤ 1回目 Q-U 結果 K13 法による分析	学級づくり集団づくり	ブロック	各学年		
⑥授業案検討会	算数科	授業者	未定		
⑦第1回授業研究会	算数科	授業者	未定	6月下旬	○
⑧藤川章先生学級づくり講演会	学級づくり集団づくり	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト			
⑨市川伸一先生授業づくり講演会	授業改善				
⑩ ICT の活用について，今年度「学力把握調査」問題，「全国学力・学習状況調査」問題学習学年一覧表づくり	授業改善 思考力・表現力育成	講師 個人			
⑪校内研修「遊びにのめり込むようなしかけづくり（時間・空間・仲間）について」	元気アップ事業研修	講師			
⑫「算数コーナー」「ことバンク」実践情報交換，各種検査から見る各学年の児童の実態と今後の対応策について	算数科における言語活動 思考力・表現力育成	全職員	各学年		
⑬授業案検討会	算数科	授業者	未定		
⑭盛山隆雄先生授業研究会	算数科授業改善	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト			
⑮第2回授業研究会	算数科	授業者	未定	10月下旬	○
⑯家庭学習ノートの取組状況について，プロジェクトで学んだことの実践に向けて	家庭学習 算数科	全職員 研究主任	各学年		
⑰ 2回目 Q-U 結果 K13 法による分析①	学級づくり集団づくり	ブロック	各学年		
⑱ 2回目 Q-U 結果 K13 法による分析②					
⑲河村茂雄先生教育講演会	学級づくり集団づくり	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト			
⑳黒岩禅先生学級づくり講演会	学級づくり集団づくり				
㉑今年度の成果と課題（児童の変容から）	研究のまとめ	全職員	各学年		
㉒研究のまとめ，来年度の研究の方向性		研究主任			
㉓研究紀要作成					

*上記のほかに，一人一実践が入る。